

諏訪医療圏における療養病床の現状について

諏訪保健福祉事務所

1 現在把握している増床計画

諏訪共立病院 15床（療養病床）増床

2 諏訪医療圏における療養病床の充足状況

別紙「病床調整に係る転院状況等調査について」のとおり

- ① 圏域外への転院は 2018年度 402件（うち県外へは155件）
2019年度 282件（うち県外へは100件）[11月までの実績]
- ② 療養病床（病院）への転院のうち、圏域外への転院は
2018年度 31件（うち県外へは10件）
2019年度 19件（うち県外へは11件）[11月までの実績]
- ③ 療養病床（病院）への転院に係る待機期間は、2018年4月～2019年11月までの平均で40.3日であり、長期入院により診療報酬が減算される患者もいる。
- ④ 療養目的で、他の医療機関の一般病床へ転院せざるを得なかった患者数は
2018年度 10人（うち県外へは1人）
2019年度 14人（うち県外へは4人）[11月までの実績]

3 療養病床不足の現状

- ① 圏域外の療養病床への転院 一年間に30件
(2018年度、2019年度11月までの実績から推計)
- ② 療養目的で、他の医療機関の一般病床へ転院 一年間に14件
(2018年度、2019年度11月までの実績から推計)

$$\text{①} + \text{②} = 44 \text{ 件}$$

4 療養病床増床に伴う受入れ患者数の増加（15床増床の場合）

- ① 一年間に受入れ増となる延べ患者数

$$15 \text{ 床} \times 365 \text{ 日} = 5,475 \text{ 人}$$

- ② 新規受入れ患者数

療養病床の平均在院日数 141.5 日（厚生労働省 H30 年）

$$5,475 \text{ 人} \div 141.5 \text{ 日} = 38.7 \text{ 人} \quad \underline{\underline{\text{一年間に約 39 人の新規受入れが可能となる}}}$$